

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0403011

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	B	
単位施策	1 防犯体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町暴力追放運動推進協議会補助事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	#N/A	
事業指標	団体の安定運営		#N/A	
事業目標	1団体	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	1 暴力追放を呼び掛ける啓発対象	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画 内容	雄武町暴力追放運動推進協議会補助金	雄武町暴力追放運動推進協議会補助金	雄武町暴力追放運動推進協議会補助金	雄武町暴力追放運動推進協議会補助金	雄武町暴力追放運動推進協議会補助金	雄武町暴力追放運動推進協議会補助金	
	協議会の事業展開として、暴力団排除運動を推進しており、産業観光まつり、雄武神社祭での町外からの露店出店者が暴力団関係者かどうかを確認し、暴力団関係者排除と安全確保に努めており必要な活動であることから、これに補助するものです。						
計画 事業費	事業費(千円)	225	45	45	45	45	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	225	45	45	45	45		
実績 事業費	事業費(千円)	225	45	45	45	45	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	225	45	45	45	45		
関連 事項	(特定財源の詳細等)						
	【評価・実績】	(実施内容等) 産業観光まつりや神社祭からの暴力団関係者の排除活動を進め、イベントの安全確保に寄与する活動を推進している。	(実施内容等) 産業観光まつりや神社祭からの暴力団関係者の排除活動を進め、イベントの安全確保に寄与する活動を推進している。	(実施内容等) 産業観光まつりや神社祭からの暴力団関係者の排除活動を進め、イベントの安全確保に寄与する活動を推進している。	(実施内容等) 産業観光まつりや神社祭からの暴力団関係者の排除活動を進め、イベントの安全確保に寄与する活動を推進している。	(実施内容等) 産業観光まつりや神社祭からの暴力団関係者の排除活動を進め、イベントの安全確保に寄与する活動を推進している。	
		※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体
		年度達成率	100%	100%	100%	100%	100%
	全体達成率	20%	40%	60%	80%	100%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	雄武町暴力追放運動推進協議会補助事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南 慎一

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	暴力団が関係する事件の発生件数	
【抱える課題やニーズは】	イベントにおける暴力団関係者の排除	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内において暴力団が活動できない環境をつくる。	① 暴力団が関係する事件の発生件数	目標年度	平成24年度
			目標値	0件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	暴力団が関与しない安心な町を実現する。	②	実績値	0件
			達成度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	運営費補助金の交付	安定した組織運営を支援するため、運営費補助を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	暴力団が関与しない安心な町づくりを推進するうえで中心となる団体であることから、組織の安定運営のため必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町内イベントへの暴力団関係者の関与は無く、十分な効果を得られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	イベント等への露店出店者から暴力団関係者を排除するのみならず、イベント主催者と露店出店者間の調整役(ゴミ処理等)として、目に見えない部分での貢献もある。また、会員から募った寄付金を活動資金の一部としていることから、事業費抑制の効果もある。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

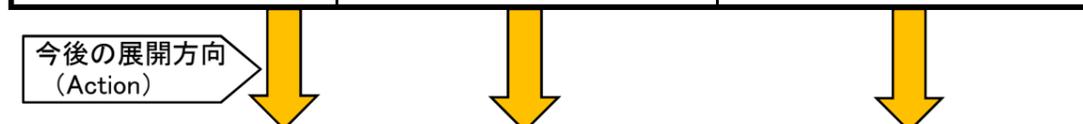
公平	判断の理由	町全体を対象とした暴力団排除運動を行っていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
当初計画どおりに事業が実施され、目標が達成された。		



継続/現状維持		
安心して暮らすことのできる町を実現するため、暴力団排除運動に対する支援は今後も必要である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止